

令和元年度 六郷小学校自己評価(前期) 結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数(A+B=80%以上) ○:80%以上 ▲:80%未満 A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない

項目	主な具体策	評価の観点		保護者		児童		教職員		成果(○)と課題(▲)・改善方法(☆)	学校関係者評価委員から (課題事項について)
				A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価		
1【知】 確かな学 力の育 成ー主体 的・対話 的に学習 し深く学 ぶ子の育 成に努め ますー	○基礎基本の確実な定着 ○自ら学び自ら考える力の 育成 【数値目標】 (1) 学年×10分＋10分の家 庭学習に取り組む児童の割 合 80% (2) 漢字力・計算力テスト合 格点(80点)取得者 80% (3) 県学力診断のためのテ ストで前年比の合計 ＋5点	1	漢字力・計算力テスト合格点(80点)取 得者は80%以上となるように指導して いる。	97.0%	○	90.1%	○	70.0%	▲	○漢字力・計算力テストは、本校の数値目標80%に対して漢字力テスト達成率 89.5%(昨年比＋2.2)、計算力テスト達成率89.7%(昨年比＋11.5)と大幅に向上し ており、児童・保護者はその効果を評価しているといえる。 ▲授業に積極的に取り組んでいると回答した児童が多かったが、保護者は学習 にも少し積極的になってほしいと考えている。今後も校内授業研修にて、指導 方法(TT・少人数・ICTの活用等)や学習形態(ペア、グループ等)の工夫を中心 にさらなる授業改善を目指す。 ▲家庭学習は、児童と保護者・教師との評価の差が大きい。児童の満足度は高い いが、保護者・教師はさらなる質・量の取り組みを望んでいる。 ☆基礎・基本の定着に向け、繰り返し練習や個別指導、TT等の複数教員の配置 を効果的に実施する。 ☆児童の学習意欲は、児童が頑張った点や授業でのよい発言を取り上げて、 意欲の向上につなげていく。 ☆家庭学習は、毎週の学習予定表裏面に「家庭学習の手引き」家庭学習12 3」の内容を繰り返し確認して共通認識を図る。 ☆eライブラリ(インターネットによる家庭学習サービス)を各家庭でさらに利用し てもらえるようにPRする。	・主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくり で教員の自己評価が厳しいのは学力向上への意 識の高いからだろう。校内で授業研修を重ねている とのことなので、後期には自己評価も上がるだろう。 ・授業づくりについては、保護者が学習指導場面 を見る機会が少ないので伝わりづらいのだろう。今後 も保護者には、校内授業研究や協議の様子を学校 HPで紹介したり、授業参観日を設定したりして認知 してもらえる努力を続けてほしい。 ・全国学力・学習状況調査で国語・算数共に正答率 が県及び全国平均を大幅に上ったとのこと。日々 の地道で丁寧な学習指導の成果だ。 ・家庭学習時間については、保護者が就労している ので家庭で子どもの学習の様子を見る機会が少な いのかもしれない。結果だけでなくプロセスをほめ てあげてほしい。
		2	児童の主体的な学びを引き出す授業 づくりを心がけている。	78.8%	▲	89.1%	○	70.0%	▲		
		3	家庭学習(宿題含む)を「学年×10分 ＋10分以上80%」となるように、指導し たり励ましたりしている。	71.7%	▲	91.1%	○	80.0%	○		
2【徳】 豊かな心 の育成ー 友達と協 働し、心 豊かに生 活する子 の育成に 努めま すー	○基本的な生活習慣の徹 底 ○一人一人のよさを発揮で きる特色ある教育活動の充 実 【数値目標】 (1) 学校が好きな児童 90% (2) 体験活動・交流活動の 満足度 90% (3) 「みんなにすすめたい一 冊の本」県教育長賞受賞者 90%	4	気持ちのよい元気なあいさつ・大きな 返事の指導と共に率先垂範している。	85.9%	○	95.1%	○	100.0%	○	○あいさつ・返事は、教師自身が率先して指導していることで、児童の自己評価 も高かった。計画集会委員会児童によるあいさつ運動も継続している。 ○安心できる学校生活については、児童・保護者ともに評価が高く、学校がすき な児童は98%(1学期末調)にのぼる。毎週のスクリーニング会議にて気になる 児童を教師間で情報を共有したり、毎月のいじめ防止アンケート・毎週のいじめ チェックリスト結果を共有したりして、安心して学校生活を送ることができるように 配慮している。 ○体験活動の充実・満足度の評価も高く、地域合同の運動会・PTA合同開催の 六郷っ子フスティバル等の学校行事に対する充実感が現れている。 ○全体的に「豊かな心の育成」への取組は高く評価されている。 ☆今年度の新規事業である児童をほめて伸ばす「ホメノプロジェクト」を全校で 推進していく。(1学期延べ159名授与。2学期9・10月延べ152名授与)	・あいさつは、教師が率先垂範している。 ・小学生が地域住民に進んであいさつしてくれるの で、生きがいにつながる。地域全体であいさつ運 動をしようか。 ・様々な体験は、学校だけでなく家庭でも充実させ てほしい。国民体験白書によると子ども時代に体験 活動が多いと大人になって伸びるとのことだ。 ・子どもには「あい・じ・み」(あいさつ・時間・身なり)を しっかり指導してほしい。
		5	安心して楽しく、良好な人間関係で学 校生活を送ることができるように生徒 指導の充実にも努めている。	94.9%	○	93.1%	○	80.0%	○		
		6	各種体験活動・交流活動・学校行事の活 動では、一人一人がよさを発揮し成功体験 や満足度を充実させ、次の活動に生かす ための指導に努めている。	95.9%	○	97.1%	○	100.0%	○		
3【体】 健やかな 体の育 成ー明る く健康 で、活 力ある子 の育成に 努めま すー	○健康で安全な生活習慣の 徹底 ○体力の向上と健康教育の 推進 【数値目標】 (1) 危機回避の行動がとれ る児童 90% (2) 体力テスト総合評価A・ Bの割合 60%	7	歯磨きタイム等の健康な生活習慣・病 気の予防等の健康教育の指導をして いる。	86.8%	○	95.0%	○	100.0%	○	○健康教育の指導は、毎日の歯みがきタイムや専門家によるがん教育・食育・ 薬物乱用防止等の授業の取組が高評価につながっている。 ○安全の指導は、自然災害・不審者等の避難訓練対応行動や安全な登下校を 目指す登校班会議の実施が高評価につながっている。 ○体力テストは「A+B 63.4%」であり、本校数値目標60%を達成できた。 ○体力向上への取組は、体育の学習とともに運動会・持久走大会・なわとび大 会・市陸上記録会等の行事と関わらせながら目的意識をもって意欲的に取り組 むことができた。引き続き工夫が必要である。 ▲「歯磨き」「早寝・早起き」は、保護者の学年による評価の差が見られた。学年 が上がるにつれて寝る時刻が遅くなる等の生活習慣が乱れる傾向がある。 ☆児童の生活習慣について、PTA学校保険安全委員会で取り上げ、学校医の 助言を得ながら改善を図る。	・下校時に一人になってしまう児童がいるので、複 数の目で見守ることが大切である。
		8	運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動 量を確保した体育学習を工夫し、体力 の向上に努めている。	81.9%	○	90.1%	○	100.0%	○		
		9	安全(生活・交通・災害)について計画 的・継続的に指導し、危機回避の行動 がとれる児童の育成に努めている。	89.9%	○	100.0%	○	100.0%	○		
4 信頼 と協働で 結ばれた 地域とと もにある 学校づく り	○各種たより・学校HPによる 学校情報の積極的発信 ○授業参観の地域への公開・公民館との合同運動会 の実施 ○保護者・地域との連携による登下校の見守り・安全 パトロール 【数値目標】 学校HPの授 業日の更新率 95%	10	学校・学年・保健だより等を発行(毎月 1回)したり、学校ホームページを掲載 (授業日の更新率95%)	93.9%	○			70.0%	▲	○学校だより・HPの掲載は保護者の評価が高かった。特にHPは2学期11月上 旬までに529記事を掲載し、毎月10000アクセスを超えている。 ○児童の見守りは、保護者・地域が連携して毎日の交通安全指導を実施してい るため評価が高かった。 ○いじめ未然防止のために、児童が主体となるいじめゼロ集会の実施、専門ス タッフとの連携による教育相談体制の充実を図り、組織として早期発見、早期対 応をさらに推進する。 ▲HPは、更新する頻度に学年差が出ないように学校内のルールに沿って公平 を保てるように努力する。 ☆いじめ防止には、今後も教員と専門スタッフがチームで継続して取り組むこと が大切だ。保護者との連携をさらに丁寧にして、児童の安心を守っていく。	・民生委員の会議では地域によってはネグレクト事 案も少なくないが、六郷小学区はそのような情報も なく、良い家庭環境だと感じる。
		11	保護者や地域住民と連携・協働して各 種行事・登下校の見守り・安全パトロー ル等に取り組んでいる。	96.9%	○			90.0%	○		
		12	本校いじめ防止基本方針を理解し、い じめの未然防止・早期対応に組織とし て取り組んでいる。	89.9%	○			90.0%	○		

保護者回答率 98% 内訳:1年生(100%・16/16人) 2年生(100%・11/11人) 3年生(100%・15/15人) 4年生(100%・10/10人) 5年生(96%・25/26人) 6年生(96%・22/23人)